

令和4年度海老名市予算の概要

コロナ禍に光を見出す 将来の健全財政を維持

予算規模

() 内は対前年度比

◆**予算総額** 740億4,000万円 (19億6,600万円、2.7%増)

◆**一般会計** 461億8,000万円 (9億5,500万円、2.1%増)

◆**特別会計** 232億4,700万円 (10億5,600万円、4.8%増)

- ・国民健康保険事業特別会計 122億1,300万円 (4億6,800万円、4.0%増)
- ・介護保険事業特別会計 89億3,100万円 (4億5,300万円、5.3%増)
- ・後期高齢者医療事業特別会計 21億 300万円 (1億3,500万円、6.9%増)

◆**企業会計** 46億1,300万円 (△4,500万円、1.0%減)

- ・公共下水道事業会計 46億1,300万円 (△4,500万円、1.0%減)

予算総額、一般会計ともに**2年ぶりの増額で、過去最大**となりました。

歳入 (一般会計)

() 内は対前年度比

○**市税** 236億6,100万円 (19億8,500万円、9.2%増)

- ・個人市民税 92億6,700万円 (9億6,600万円、11.6%増)
- ・法人市民税 10億1,900万円 (2億1,200万円、26.3%増)
- ・固定資産税 108億3,600万円 (6億7,200万円、6.6%増)

○**地方譲与税及び各種交付金** 39億2,200万円 (600万円、0.2%増)

○**基金繰入金** 13億7,800万円 (△4,800万円、3.3%減)

○**市債** 23億1,100万円 (△16億4,900万円、41.6%減)

歳出 (一般会計)

() 内は対前年度比

○**義務的経費** 241億4,600万円 (1億9,800万円、0.8%増)

- ・人件費： 83億2,300万円 (1億円、1.2%増)
- ・扶助費： 129億5,700万円 (5億6,800万円、4.6%増)
- ・公債費： 28億6,600万円 (△4億7,000万円、14.1%減)

○**普通建設事業費** 36億2,700万円 (△8億8,700万円、19.6%減)

主要事業の概要

新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済活動の両立を図りつつ、未来へつながる持続可能な行財政運営を行うため、令和4年度予算のテーマを「コロナ禍に光を見出す 将来の健全財政を維持」として編成いたしました。

充実して暮らせるまち



■市制施行50周年記念プラス1(ワン)事業の実施 **〈新規〉**

市制施行50周年記念事業の中で、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業の一部を「市制施行50周年記念プラス1(ワン)事業」として実施します。

市民まつり
打ち上げ
花火の
イメージ



■防犯灯LED化整備事業 **7,700万円**

市民の安全を守る防犯灯の電力量、料金の削減と二酸化炭素の排出抑制及び長寿命化による環境負荷の軽減を図ります。

健やかに暮らせるまち



■駅間での健康推進事業の実施 **2,000万円 〈新規〉**

海老名駅間施設ViNA GARDENS PERCHIにて、健康相談、講座等の健康医療プログラムを展開し、若い世代の健康意識等の向上を図ります。

■24時間健康相談ダイヤルの実施 **500万円 〈新規〉**

市民が24時間365日健康に関する不安を相談できるコールセンターを整備し、深夜帯などでも途切れることのない健康相談体制を確立します。

■福祉法人設立に向けた準備 **1,400万円**

障がい者が自分らしく暮らせる地域共生社会の実現と自立を図ることができるよう、支援策を展開する福祉法人の設立準備を進めます。



ViNA GARDENS PERCHIイメージ

にぎわいがあり自然に優しいまち



■農業法人「海老名市農業支援センター」運用開始 **1,000万円 〈新規〉**

担い手の確保や農地の有効活用、地産地消の推進等に取り組むことを目的として設立した農業法人に対し、活動支援のため補助金を交付します。



収穫体験のイメージ

■イルミネーション事業のリニューアル **2,500万円 〈新規〉**

海老名の冬の風物詩となるような海老名駅周辺が一体となったイルミネーションを実施し、にぎわいを創出し、市内全体の経済活性化を図ります。

■家庭系ごみの減量化に資する戸別収集 **2億5,500万円**

令和元年度より実施している「家庭系ごみ処理の一部有料化と戸別収集」を継続し、より一層の燃やせるごみの減量化、資源化の促進を図ります。



イルミネーションのイメージ

便利で快適に暮らせるまち



■(仮称)大谷・杉久保地区公園整備事業 **1,600万円 〈新規〉**

高速道路の休憩施設で利用者が多い東名高速道路海老名SA下り線に隣接した都市公園及び地域振興施設の整備を進め、南部地域の魅力向上、活性化を図ります。

■中新田丸田地区の土地区画整理事業 **5,800万円**

中新田丸田地区において、地権者で構成された組合による土地区画整理事業を前提とし、市街化区域編入を行うことで、地権者による土地活用の推進を支援します。



東名海老名SA周辺の様子

■海老名駅東口周辺の自由通路延伸による
歩行者空間の確保 1,900万円 〈新規〉

海老名駅東口周辺の安全で回遊性のある良好な歩行者空間を確保するため、自由通路延伸に関する調査・整備方針の検討を行います。



海老名駅東口周辺図

豊かな学びを育むまち



■小学生への折り畳み式の児童用防災ヘルメットの貸与 1,700万円 〈新規〉

防災対策の向上を図るため、児童用防災ヘルメットを購入し、市内小学校新1年生～3年生に貸与します。



折り畳み式の児童用防災ヘルメット

■電子図書館の導入 300万円 〈新規〉

海老名市立図書館利用者の利便性向上及び市内小中学校における読書活動推進のため、電子図書館を実施します。

■中学生の学習支援の充実 700万円 〈新規〉

生活困窮世帯の中学生の学習習慣の確立・学習意欲の向上を目指して、日常生活習慣の定着や居場所づくり、進学に関する支援を実施することで、進学や社会的自立を促し、貧困の連鎖を防止します。



安全で安心して暮らせるまち



■高規格救急車、消防ポンプ車の更新 9,400万円 〈新規〉

高規格救急車、消防ポンプ車を更新し、万全な出動体制を整え市民の安全・安心を確保します。

■消防署南分署建替え事業の推進 4,500万円

老朽化した南分署の移転・建替えにより、災害に強い頑強な庁舎とすることで、迅速確実な出動体制を構築し、「安全・安心なまち」を維持し続ける消防体制を目指します。



高規格救急車のイメージ

消防ポンプ車のイメージ

かがやきを創造するまち

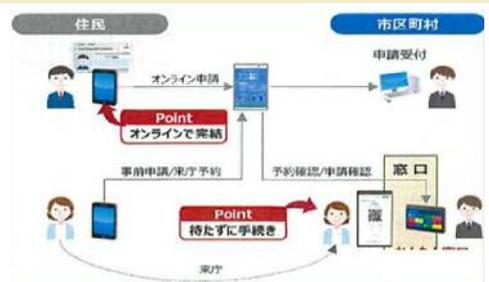


■スマート申請・スマート窓口の導入 3,600万円 〈新規〉

スマート申請・スマート窓口を導入することで、窓口の混雑緩和、長時間の滞留防止、待ち時間の短縮を図り市民の負担軽減・利便性の向上を目指します。

■公共施設再編(適正化)計画の改定 800万円 〈新規〉

アンケート、ワークショップ、パブリックコメントを取り入れた市民参加による公共施設再編(適正化)計画の改定を行います。



スマート申請・スマート窓口のイメージ

新たな発見ができるまち



■魅力あるシティプロモーションの展開 100万円

「5050EBINAダンス」を市制施行50周年記念プラス1事業として実施し海老名の元気を発信するとともに、郷土愛の醸成を図ります。



令和3年度補正予算との一体的な予算編成

新型コロナウイルス感染症対策など、令和4年度事業の一部を前倒しで実施するため、令和3年度補正予算と、令和4年度当初予算とを一体的に編成しました。

○予算額

一般会計予算総額 473億6,900万円

・令和4年度一般会計当初予算額 461億8,000万円



・令和3年度一般会計補正予算へ前倒した額 11億8,900万円

新型コロナウイルス感染症対策の主な事業 2億3,000万円

■PCR検査等補助金、新型コロナウイルス感染症予防関連業務委託 6,600万円 **〈新規〉**

PCR検査等を実施する医療機関の負担軽減のため補助金を交付します。また、新型コロナウイルスワクチン予防関連業務を海老名市医師会に委託し、感染拡大を防止します。

■賃貸オフィスビル入居奨励補助金 9,000万円 **〈新規〉**

感染症の流行を契機に、郊外にオフィスを移転する企業が見られる中、市内オフィスビル等に入居した企業に補助金を交付することで、雇用の創出と地域経済の活性化を図ります。

■避難所用防災備蓄品購入 4,300万円 **〈新規〉**

避難所における感染症防止対策のため防災備蓄品を購入します。



避難所用防災備品のイメージ

その他の主な事業 9億5,900万円

■中学校給食調理施設（食の創造館増築棟）の整備 6億6,300万円 **〈新規〉**

公立中学校における完全給食実施に向けて、食の創造館東側敷地に新たな学校給食調理施設を建設します。

■市道249号線通学路歩行空間整備などの道路事業 6,700万円 **〈新規〉**

■転出・転入ワンストップサービス 700万円 **〈新規〉**

『「行かない」「待たない」「書かない」窓口』をスローガンとする窓口申請システムを構築し、市民の負担軽減と利便性の向上を図ります。



中学校給食調理施設のイメージ

市債及び基金残高の状況

○令和4年度の市債残高は416億1,100万円（前年度比8億700万円の減）、基金残高は71億300万円（前年度比5億1,100万円の減）となる見込みです。

（単位：千円）

区分	令和2年度末	令和3年度末	増減額	令和4年度末	増減額
市債残高	40,702,115	42,418,044	1,715,929	41,611,373	△ 806,671
一般会計	28,376,178	30,295,240	1,919,062	29,892,833	△ 402,407
企業会計	12,325,937	12,122,804	△ 203,133	11,718,540	△ 404,264
基金残高	6,718,615	7,614,277	895,662	7,103,177	△ 511,100
財政調整基金	2,630,515	2,836,540	206,025	2,837,061	521
新まちづくり基金	1,174,935	1,022,462	△ 152,473	698,566	△ 323,896
公共施設等あんしん基金	1,927,223	2,435,287	508,064	2,446,723	11,436
その他基金	985,942	1,319,988	334,046	1,120,827	△ 199,161

注：特別会計で管理する基金は除いています。

お問い合わせ先

海老名市 財務部 企画財政課

電話 046-235-8453（直通）

FAX 046-233-9118

E-Mail zaisei@city.ebina.kanagawa.jp